

## 大地震を想定した災害訓練を行いました

平成 29 年 2 月 15 日（水曜日）に災害訓練を行いました。当院は柳井医療圏（柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・上関町）で唯一の災害拠点病院に指定されており、大地震や土砂崩れなどの自然災害や列車事故などでケガをされた方が多数来院された場合にしっかりと対応できるよう災害マニュアルの策定や非常用物資の準備を進めています。

訓練は南海沖を震源とする震度 6 強の地震が起き、多くの傷病者が搬送されてくるという設定で行いました。受け入れ準備は訓練を重ねる度に手際が良くなっており、3 年前と比べるとおよそ半分の時間で完了することができました。しかし、患者受け入れ後は情報整理がうまく行かず具体的な課題も浮き彫りになりました。

今年度の新たな試みは地元の看護学校に協力をお願いし、看護学生さんに傷病者役で参加をしてもらった事でした。傷病者用のメイクを行った看護学生さんを玄関前で重傷度別に分類して各治療エリアにて応急処置訓練を行いました。

訓練終了後は参加者全員での意見交換、コアメンバーによるミーティング、委員会での振り返りなど複数回にわたって反省会を行い、訓練で見えてきた課題について検討しました。今後も定期的な訓練を続け、いつどこで起きるかわからない大災害に迅速な対応ができるよう防災力・減災力を高めてまいります。



災害対策委員会